

新年度

黄金の三日間 最初の授業

～学年別一覧～

—発達段階に応じたポジティブ授業びらき—

◇ 決定版「黄金の三日間の準備
リスト・チェック表」

◇ この学年＝そのまま使える
授業びらきシナリオ
(発問・指示付き)
小1～中3 学年別シナリオ

◇ 教師のキャリアステージ別
「学級びらき」の準備ポイント
新卒からベテランまで



イラスト：渡邊 瑞穂

1

「黄金の三日間」は向山洋一氏の造語です(例:『教室ツウウェイ』誌 二〇〇二年四月号)。新年度、学校が始まってからの三日間のことを言います。なぜ「黄金」なのでしょう。それは、最初の三日間は、どの子も「おりこう」だからです。みんな、それなりにちゃんと座っています。目の前の新しい教師の話を聞こうとしているからです。つまり「様子をうかがっている」のです。この時期に、教師が無計画で頼りない指導をしたらどうなるでしょうか。子供たちは瞬く間に崩れていきます。「おりこう」な子供たち、彼らは新担任のあなたの力を試しているのです。そこから学級崩壊まで、ものの数週間です。地獄の一年間が始まります。逆に、黄金の三日間をしっかりと準備して臨めば、その一年間の見通しはかなり明るいものになるでしょう。

2

東京の桜木泰自氏が、「黄金の三日間

でやることリスト」を見せてくださった
ことがあります。桜木氏のサークルの中
村さや香氏が「教え方セミナー」で紹介
したものだということでした。

それには黄金の三日間でやることが、次
のような優先順位で紹介されていました。

- A……何が何でも、四月五日まで
B……時間があれば四月五日まで
C……四月九日朝まで
D……その他（できるだけ早めに、
仕上げておきたいこと）

つまり「黄金の三日間」の準備リスト
を①列挙し、②カテゴリー分けし、③優先
順位を付け、④デッドラインごとに、分
かりやすく示しているわけです。しかも、
このリストは毎年更新されています。

なるほど、こうして優先順位を設定し
ておくとう便利です。新卒間もない先生で
も、ある程度見通しをもって準備するこ
とができるでしょう。

まずは、そうした「全体の俯瞰図」を
見ることができるよう「リスト」

チェック表」を持つておくことが重要です。

3

教師の仕事は「授業」です。

とりわけ、黄金の三日間最初の授業／
いわゆる「授業びらき」は、子供たちも
興味津々です。

子供たちが初めて出会うあなたの授業
です。その大切さは、どんなに強調して
も、しすぎることはありません。

次のような条件が必要でしょう。

- 1 授業開始からすぐに引き付ける
こと
- 2 全員が熱中すること
- 3 知的に面白いこと

そして、できれば「何かができるよう
になる」「何かがストンと理解できる」
ような状態を実現できれば最高です。

それは、簡単なことではありません。

まずは、多くの力のある先生方がして
いる授業をトレースすることが基本です。
そこで、今回は学年別に小一から中三

まで、全ての授業びらきについて、その
シナリオ例を示していただきました。

4

教師のそれぞれの年代で「黄金の三日
間」の準備はニュアンスが違います。

新卒／三年目くらいまでの若手であれ
ば、これまで述べてきたような具体的な
準備が必要になるでしょう。

しかし、十年目を迎えるような中堅ク
ラスでは、「半年／一年先」までの見通
しをもった準備もまた重要です。黄金の
三日間の中で導入しておいた活動が、二
学期・三学期に花開くことも多いからで
す。また「学校全体の動き」を視野に入
れておくことも必要です。

さらに、それ以上のベテランクラスで
あれば、学校経営、校務分掌、研究テー
マ、校内研修などにも目配りしながら、
若手へのアドバイスも同時にこなす必要
があります。

そうした、キャリアステージ別の準備
ポイントも示していただきました。

（本誌編集長 谷和樹）

✓ 決定版「黄金の三日間の準備リスト・チェック表」

始業式までに これだけはやろう

「チェックリスト」で優先順位を確認し、
見通しをもって準備する。

東京都公立小学校

なかむら か
中村 さや香

1 一週間もない準備期間

一年間の学級経営の基盤をつくるためにも、黄金の三日間はしっかりと準備をして臨みたい。しかし、新しい学級、子供たちとの出会いに向けて、やるべきことは多々あるが、準備期間はあまりに短い。その間にも、会議や校務分掌の仕事などが分刻みで入ってくる。

新しい学年・学級を担任する先生方は、僅かな隙間時間を縫って、自分の学級の準備を進めることになる。

2 毎年更新する「準備リスト」

少しでも効率よく準備ができるように、毎年「黄金の三日間の準備リスト」を作成している。

二〇〇八年三月末、TOS S お江戸87の会主催（代表・桜木泰自氏）「春の教え方セミナー」にて、初めて紹介をした。子供たちと出会う始業式までにしておきたいことを、経験年数の浅い先生方に自分の経験を交えて伝えたい、と考えた。当時担当した講座と連動して、この

リストを「始業式までにこれだけはやっておこう 出会いまでの準備リスト」と名付けた。以降、少しずつではあるが、毎年リストの内容を更新・追加している。

子供たちの様子や、学校での事務作業、コンプライアンス[※]的な問題などが、年々変化している。また、勤務先の状況によって、準備の内容に多少の違いもある。

さらに今年度は、新学習指導要領の全面実施の年でもある。今年度の状況を踏まえ、次年度も更新をする予定である。

3 準備の優先順位

作成当初はやるべきことを列挙しただけのリストだった。更に見通しをもって準備ができるよう、「優先順位」をつけた。

- A…何が何でも始業式前日まで
- B…時間があれば始業式前日まで（始業式当日が終わるまでに済ませたいこと）
- C…始業式の次の日の朝まで
- D…その他（できれば早めに、仕上げておきたいこと）

※ 法令遵守。
法令だけでなく、倫理や社会的規範を遵守することを指す。

出会いまでの準備リスト（ダイジェスト版）

1. 事務

※出席簿作成などは始業式当日に行うこともある。

A	☐	①保健関係書類(検診関係書類)に氏名印押印
B	☐	②週案簿 作成
B	☐	③出席簿 作成
B	☐	④学年の役割分担 決定
D	☐	⑤遠足・社会科(生活科)見学移動教室の計画 作成
D	☐	⑥指導要録 確認・整頓
D	☐	⑦年間の流れ(行事等)確認
D	☐	⑧集金袋 作成

2. 児童

※名簿作成などは始業式当日に行うこともある。

A	☐	①名前の読み方・性別 確認
A	☐	②氏名印 確認
A	☐	③名簿作成(学級用/学級編成配布用)
A	☐	④児童についての引き継ぎ
A	☐	⑤児童の名前 暗記
B	☐	⑥個人の記録 確認
D	☐	⑦児童の住所 把握(学級全員の住んでいる場所が一目でわかる地図の作成)

3. 始業式、入学式

A	☐	①始業式・入学式の流れ確認
A	☐	②学区域地図 作成・掲示
A	☐	③自己紹介 検討
A	☐	④児童への配布物 確認
A	☐	⑤児童から預かるものなど 確認

4. 黄金の3日間の準備

A	☐	①学年便り 作成・印刷
A	☐	②児童への配布物 確認
A	☐	③学級経営方針検討、演説
A	☐	④3日間の時間割 検討
C	☐	⑤各教科の授業開き 検討
A	☐	⑥学級通信 作成・印刷
D		(出すなら「A」出さないなら「D」)
C	☐	⑦メッセージを黒板に記入
D	☐	⑧「めあてカード」作成

5. 学級・教室経営

A	☐	①学校の日課表 掲示
A	☐	②学校のルール 確認
A	☐	③持ち物 決定 (学年で購入するもの、購入希望を募るものも、検討する。)
B	☐	④机の配置・座席 検討
B	☐	⑤学級の「1日の流れ」 検討
	☐	i)朝の会・帰りの会
	☐	ii)給食当番(分担表作成)
	☐	iii)掃除当番(分担表作成)
	☐	iv)係
	☐	v)日直
	☐	vi)その他
B	☐	⑥名前シール 作成・掲示
B	☐	⑦教室にある備品など 確認
B	☐	⑧教室レイアウト 検討
B	☐	⑨時間割 作成・印刷、掲示
B	☐	⑩文房具 準備 (貸したし文具も用意する。)
C	☐	⑪「便利グッズ」 準備
D	☐	⑫学級記録簿 作成

6. 授業

A	☐	①教材選択(漢字・計算・テスト他)
D	☐	②各教科最初の単元 教材研究
D	☐	③児童の実態調査 準備・実施
D	☐	④各教科の授業展開 検討

※リストの詳細については、
デジタル・トークラインをご覧ください。



- ✓ この学年＝そのまま使える授業びらきシナリオ（発問・指示付き）
✓ 小6でそのまま使える授業びらきシナリオ（国語）

国語科授業のシステムを インストール

授業の詳細を記した資料・コンテンツがある。
連絡は下記まで。
稲田好子：greenlittlefairy@gmail.com

山口県下関市立檜崎小学校 かわ た たか ふみ
河田 孝文

教科を問わず授業びらきで心すべきことは次だ。
・「勉強って楽しい」と思わせる。
・学習のしつけをする。
・授業のシステムをインストールする。
国語では、次のような手順で授業を進める。

1 音読

「話す・聞くスキル」（正進社）を配付し、名前を書かせる。そして、次のように言う。
「『話す・聞くスキル』を半分に折りなさい※。音読するときは、机に立てて持ちます」

半分に折る、机に立てるなどささいなことだが、このようなことが毎時間きちんとできないクラスの音読力は向上しない。最初にやっておかないと、ずっとよくない持ち方、読み方を続けることになる。また、最初だからしつけることができる。「話す・聞くスキル」のユースウェアについては正進社ウェブサイト、TOSSLランド、ユースウェアセミナーで体験し、練習していただきたい。実際にやってみることをお勧めする。教材を我流で教室に投入すると、せっかくの効果が台無しになる。

2 漢字練習

漢字習得のための教材は、「あかねこ漢字スキ

※見開きの片方のページを後ろに折り込むこと。

ル」（光村教育図書）が最適である。教師が楽しんで子供に力が付く。つまり漢字習得率が他教材とは比べ物にならないのだ。

授業びらきの漢字練習だから、練習法について、丁寧にならねば。「ゆび書き」「なぞり書き」「写し書き」をきっちり教える。この習得システムさえ体得すれば、子供たちは、特別な苦勞をしなくても、漢字を読み書きすることができるようになる。これも、最初だから全員にしつけることができるのだ。この向山型漢字指導システムも、光村教育図書ウェブサイトやTOSSLランド、セミナーなどで、自分で演習してから臨んでいただきたい。

3 教科書

最初に教えるべきは、教科書の使い方だ。表紙、裏表紙、真ん中を開かせて、それぞれに折り目を付けさせる。たかが教科書の使い方されど教科書の使い方。その後、教科書の扉の詩を音読する。

4 分析批評入門

「から」という詩で授業をする。詳しくは、本誌三三ページの実践をご覧ください。私は、三六六年生の国語の授業びらきは、この授業で、分析批評のイロハを教えることにしている。

- ✓ この学年＝そのまま使える授業びらきシナリオ（発問・指示付き）
 ✓ 小5でそのまま使える授業びらきシナリオ（算数）

算数びらきで「できる子」が間違え、 「できない子」が正解する 「逆転現象」を仕掛けよう

「あの子ができる」「この子ができない」前学年までに学級内に
つくられた子供の固定概念にヒビを入れる授業。

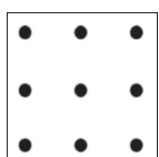
東京都・日本文化大学 講師 **木村 重夫**

1 算数授業びらきで「逆転現象」

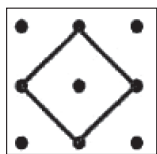
「逆転現象」とは、勉強ができて目立つ子が間違えて、勉強が苦手な（と思われている）目立たない子が正解するドラマチックな現象を言う。
また、全員が間違える状態も「どの子も大差ない」という事実を示す意味で逆転現象である。
算数授業びらきで逆転現象を引き起こしたい。

2 スタートラインに立たせる助走問題

●（点）を縦三個、横三個、等間隔に板書する。



縦、横隣同士の点と点の距離は等しいです。ノートに写しなさい。四つの点を頂点とする正方形は何個ありますか。

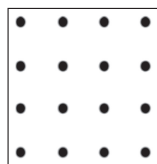


初めは意味がよく分からない子もいるだろう。例示として小さい正方形を一つ描いて見せる（右記）。できた子にノートを持って来させる。

まず「四個」が多いだろう。一番大きい正方形を加えて「五個」が出たら褒める。「でも惜しい！」答えを教えないで待つ。「斜めの正

形」を誰かが見付けるだろう。「すごいなあ！」（正解は六個）

3 チャレンジ問題で逆転現象！

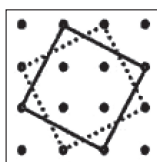


本日のスペシャル問題です。ノートに写しなさい。四つの点を頂点とする正方形は何個ありますか。

教室はシーンとなる。静かな熱中である。教師は一切教えない。黙って待つ。

勉強が得意な子がノートを持って来る。「おっ！ 早いねえ。残念！」（✓印）子供が「えー何で？」と言いながら席に戻る。「いい線いってる。でも✓」「頑張ったね。✓」✓✓✓……と続く。

（揺さぶり）みんな分からないようだから答えを教えましょうか。（待つて！）（自分で解く！）



十八個で止まる。「少し斜めの正方形」がある。二十個だ。大人しく目立たない子に発見させたい。

- ✓ この学年＝そのまま使える授業びらきシナリオ（発問・指示付き）
 ✓ 小4でそのまま使える授業びらきシナリオ（国語）

活動に次ぐ活動で子供を熱中させる

国語の授業びらきは詩から入ると効果的である。音読のシステムを、変化のある繰り返しで楽しく浸透させることができる。ノートの書き方を指導することができる。活動をたくさん盛り込むことで、子供を熱中させることができる。

光村図書・4年上・p.10-11（新教科書p.12-13）

石川県金沢市立千坂小学校

いし ざか あきろ
石坂 陽

春のつた
 ①春のつた
 ②草野 心平
 ③まぶしいな
 ④うれしいな
 ⑤まぶしいな
 ⑥ケルン クック
 ⑦草野 心平
 ⑧まぶしいな
 ⑨うれしいな
 ⑩まぶしいな

まず、音読である。

〈追い読み〉

先生の後について読みます。「春のつた」

教師の後について、一行ずつそっくり読ませる。

〈二行交代読み〉

先生と一行交代で読みます。みんなは「まぶしいな」です。「まぶしいな」

全部読み終えたら、「今度はみんなが先です。」

さんはい」と言って読ませる。

〈たけのこ読み〉

たけのこ読みというものをします。自分が読み

たい行で立つて読みます。読みたい行の上に三つ

丸を付けなさい。

もちろん、「三つ」に縛られる必要はない。回を

重ねるにつれて「四つ」「五つ」と増やしてもよい。

〈一人読み〉

今度は一行ずつ順番に、一人で読んでもらいま

す。

「まぶ まぶしいな」と「まぶ うれしいな」を、

それぞれ一人で順番に読ませていく。「上手！」「す

ばらしい！」と一人一人褒めていく。

次に、ノート作業である。

一行目に「春のつた」と書きなさい。

今から先生が十問、問題を出します。必ず文章

中に答え、もしくは手掛かりがあります。

一行ずつ空けて答えを書かせる。

①題名は何ですか。

②作者は誰ですか。

③全部で幾つの行がありますか。

④水はどんな様子ですか。四文字で書きなさい。

⑤風はどんな様子ですか。四文字で書きなさい。

⑥かえるの鳴き声は何という言葉で表されていますか。

⑦「ケルン クック」という言葉は幾つ出てきますか。

⑧何が咲いていますか。六文字で書きなさい。

⑨くもは近づいていますか。遠ざかっていますか。

⑩もしくもが遠ざかるとすると、どんな書き方になりますか。

②について。「草野と心平の間を一マス空けて

いた人？二重丸を付けなさい」と告げる。③に

ついて。「漢数字で十一」と書いていた人？正解

です」と告げる。⑦の問題で再び、「漢数字で四

と書いていた人？③での学びを生かしました

ね」と告げる。⑩について。「書けた人はノート

を持って来なさい」と指示をする。そして、「正

解です！よくできました！」と強く褒める。

あつという間に楽しく一時間が終わる。



デジタル版 DIGITAL

カラー画像を見ることができます！



- ✓ この学年＝そのまま使える授業びらきシナリオ（発問・指示付き）
 ✓ 小3でそのまま使える授業びらきシナリオ（算数）

授業の導入は簡単な指示を与えよ

全員を巻き込み、骨格となる基本形をシンプルに指導する。
 教師の言葉を削り、子供の活動を増やす。

啓林館・3年上・p.11（新教科書p.13）

兵庫県加古川市立別府西小学校

お ほん よし お
小原 嘉夫

ひろとさんのせいせき

点数	はいつたこ数	とく点
10	3	あ
5	0	い
3	10	う
0	2	え

× = う 30

「隣の人を押さえていない人、手を挙げなさい」
 授業の導入場面は、どの子もできる簡単な指示から入る。

授業の導入は活動から入り、全員を巻き込む。
 「教科書一三ページ（新教科書）を開きます」
 教師も子供と同じ教科書を開き、子供に見せながら指示をする。
 「表があります。指で押さえないさい」
 指示は明確に、語尾まではっきりと言う。

全員ができているか一瞬で見抜くことができる。
 表の読み方を指導する。

「表のタイトルは何ですか」
 表やグラフが出て来たら、まずはタイトル・表題を確定させる。

「タイトルを鉛筆で囲みなさい」
 「丁寧に、閉じた○で囲むのです」

丁寧さの追求。一年間が規定される。

「上の横軸三つ、何が書かれていますか」

「右に言葉の式が書かれています。読みます」

「言葉の式に合うように、表の横軸にも×÷を書き込みなさい」

表の中に×や÷を書き込むと式になるように設定されている（上図）。算数が苦手な子にも一目で分かる指示である。

「『う』の得点は何点ですか？」

「表に式と答えを書き込みなさい」

「『あ』の得点は何点ですか」

「表に式と答えを書き込みなさい」

「い」、「え」も同じように進めていく。

基本型を指導し、同じようにすると、どの問題も解けるようになる。
 教科書のまとめを読んで、練習問題に入る。

- ✓ この学年＝そのまま使える授業びらきシナリオ（発問・指示付き）
 ✓ 小2でそのまま使える授業びらきシナリオ（国語）

1年生のときに習った漢字で 授業する

向山実践「口に二画」も忍ばせた、
2年生が夢中になる授業びらきのシナリオ。

東京都国立市立国立第六小学校
 村野 聡

2 画数を扱う

「木は何画の漢字ですか」（四画）

九
あ→ イチ・ニーイ
 「九はあといのどちらから書くのですか」
 「いですね」
 「そら書きます。二画目のように曲がる場合は、ニーイと伸ばしながら書き順を言います」（練習する）
 以下、「九↓力」「左↓右」と書き順をそら書きさせる。

1 書き順を扱う

二
あ→ 一 ←い
 「二という漢字はあといのどちらから書くのですか」
 「あですね」
 「では、二を正しい書き順で書いてもらい」
 「ここで「そら書き」を教える。書き順を言いながら、空中に指で漢字を書かせるのである。」
 以下、「三↓手↓王」「十↓土↓上」と書き順をそら書きさせる。それぞれ正解を告げた後、正しくそら書きをさせながら進める。

4 口に二画を加えてほかの漢字をつくる

「口に二画を書き足すと、ほかの漢字になります。何か思い付いた子？」
 「二人に例示させる」
 「一年生で習った漢字の中に六つあります。ノートに書きなさい」（発表させる）
 正解は、白、田、目、四、右、石である。
 「一年生のときは八十個の漢字を習いましたが、二年生では二倍の百六十個の漢字を習います。一年間頑張りましょう」

3 一画加えてほかの漢字をつくる

以下、「木↓林↓森」「子↓字」と画数を問うていく。そら書きをして画数を確かめていく。

王 白
ノートに写しなさい
 「この八つの漢字（十は二つ）をノートに写しなさい」
 「八つの漢字に一画付け加えると違う漢字になります」（二つ例示する）
 「やってみなさい」
 木↓本、大↓犬、土↓王、王↓玉、十↓千、十↓土、人↓大、白↓百となる。発表させる。

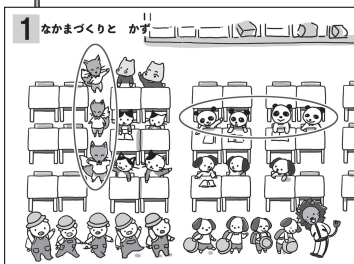


デジタル版 DIGITAL
 カラー画像を見ることができます！



- ✓ この学年＝そのまま使える授業びらきシナリオ（発問・指示付き）
 ✓ 小1 でそのまま使える授業びらきシナリオ（算数）

「絶対に褒める！」 覚悟をもって臨む授業びらき



目的は「算数の授業は楽しい」というイメージをもたせること！「活動→褒める」「作業→褒める」をパーツにして達成を図る！

東京書籍・1年上・p.2-3

三重県伊勢市立明倫小学校

高橋 久樹

※教科書をもとにかき起こしました。

① イラストを提示して、数の練習

「一部をスキヤンしたイラストを提示して」

「犬さん、何人？」（三！）

「良い感じ！ 何人？（人）を強く」（三人！）

「天才！ 猫さん何人？」（四人！）

「いい声、パンダさん？」（四人！）

「正解！ 賢い！ 豚さん！ 隣の人

に言って！」（五人！）

「すごい！ 超天才！」

「犬のイラストに戻して」

「三人！ みんなも！」（三人！）

「三人！」（三人！）

「犬、猫、パンダ、豚と二回ずつ練習する。続いて、一回ずつ練習。驚くように褒めつつ、最後は、子供たちだけで数えさせる」

② ○で囲んで仲間づくりをする

「教科書を机から出して（教科書をめくって見せながら）。めくって！ もう一度めくって」

「アイロン掛けるよ（見本を見せながら）。こうやって手で、ぎゅぎゅぎゅ」

「座っているパンダさん、何人？」（四人）

「ステキ！ 正解！ 黒板を見て。（教科書を提示して）パンダさん、四人、仲間。鉛筆でぐるっ

と囲むよ。先生のように、線と線をつないで、囲

んでね。慌てなくていいから、丁寧に」

「上手！ ほかに囲める仲間いる？」（きつねです）

「ああ、そうだね！ きつねさん、何人？」（三人）

「よし、囲もう。みんな立派！ じゃ、ほかの仲間どれか一つ、『これが仲間』と思うのを囲んで」

「Aさんが囲んだ動物を教えて」（猫さん四人）

（この後、それぞれが囲んだ動物を発表させる）



③ 囲んだ仲間を確認しつつ、話型を伝える

「みんな、算数、すごく賢い！ 確認しようね（画面に指を差して）。きつねさんが三人います」（きつねさんが三人います）

（ほかも同様に確認する。時間が余ってもやりすぎない）

★ポイント

・活動中心に、教師が明るく笑顔を心掛け、楽しそうにする。また、子供たちを、たくさん褒める。

・教材を黒板に映し、視覚支援を行う。

・①では、イラストは三／四個に絞る。また、二人（ふたり）は言い方で混乱することがあるので避ける。

・囲む場面は、教師が直に囲む姿を見せる。

・何匹ではなく、何人と言わせる（先の単元で何人目という表現が出てくるので）

・焦らない。本時のみで完璧を求めない。

イラスト：ナカジマ ヤヨイ



- ☒ この学年＝そのまま使える授業びらきシナリオ（発問・指示付き）
☒ 中3でそのまま使える授業びらきシナリオ（発問・指示付き）

「できること」でスタートする

大切なのは教科書に書いてあることを
体感させ、成功体験を積ませること。

東京書籍・歴史・p.198-199

（板書）

4 / ○ p.198

第一次世界大戦

三国同盟

V S

三国協商

ドイツ

イギリス

オーストリア

フランス

イタリア

ロシア

イタリア

福島県白河市立五箇中学校

うえ の かず ゆき
上野 一幸

1 前年度の復習から入る

指示1 教科書、一九八ページ。タイトルを読み

ます。さんはい。「第一次世界大戦」

指示2 ノートに、今日の日付、ページ数、タイ

トルを書きます。

発問1 何という戦争についての勉強ですか。「第

一次世界大戦です」

説明1 そのとおり。戦争ですから、必ず対立関

係があります。

発問2 皆さんは、昨年までに幾つかの戦争を勉

強しました。何がありましたか。「日清戦争、

日露戦争です」

発問3 日清戦争は、どこの国とどこの国が戦っ

たのですか。「日本と清です」

発問4 戦争は、講和条約を結んで終結します。

日清戦争の講和条約は何ですか。「下関条約で

す」

このときに、教科書をさかのぼって調べている
生徒がいたら褒め、「分らないことがあったら
調べてよいこと」を伝える。

同様に、日露戦争についても、対立関係と講和
条約を確認する。

2 作業指示を通して教科書を読み取らせる

発問5 第一次世界大戦は、グループ同士の戦い

です。何というグループ同士の戦いですか。

三国同盟VS三国協商である。

指示3 三国同盟側、三国協商側の国をそれぞれ

三か国ずつ書きなさい。

隣同士で確認させた後、列指名で発表させる。

同盟側がドイツ・オーストリア・イタリア、協

商側がイギリス・フランス・ロシアとなる。

指示4 国の位置を地図上で確認します。地図を

見て気付いたことを、立って発表しなさい。

イタリアが連合国側（協商側）に色分けされて

いることを取り上げる。

指示5 イタリアが連合国側になっている理由を、

教科書から探して、線を引きます。

隣同士確認させた後、全体でも確認する。

指示6 説明練習をします。後について言います。

「第一次世界大戦は、ヨーロッパで起こった戦
争です。同盟国と連合国が戦いました。同盟国
は、ドイツ・オーストリア・イタリア、連合国
は、イギリス・フランス・ロシアでした。イタ
リアは、開戦後、連合国側に付きました」

- ✓ この学年＝そのまま使える授業びらきシナリオ（発問・指示付き）
 ✓ 中2でそのまま使える授業びらきシナリオ（発問・指示付き）

「春休みにしたこと」の 対話で始める

中学2年生はクラス替えて「顔は分かるが話したことのない同級生」と同じ学級となる。そうした生徒同士が関わり合うきっかけを最初の授業でつくり出す。

東京書籍・英語・中2・p.4-5

山梨県笛吹市立春日居中学校

ひろ せ かける
広瀬 翔

1 単語練習

二回→一回→0回で動詞の過去形（中1で学習済）をリピート。一気に授業モードに引き込む。
 Repeat. Played [Played] Enjoyed [Enjoyed]
 Watched [Watched]

2 状況設定・ダイアログ練習

①「春休み」を導入

学校の実態に応じた春休みの期間（三月二十六日～四月四日など）をカレンダーで指差しながら、春休み「spring vacation」をリピート。

②状況設定（教師による例示）

新学期初日に、友人と久々に会う状況。教師は自身が春休みにしたことが分かる写真を提示して、一人二役で例示する。

A : During spring vacation, where did you go?

B : I went to Fuji-Q Highland.

A : What did you do?

B : I enjoyed many attractions.

③教師に続いて答え方の練習

場所は学校や図書館などにも変えて練習する。
 I went to Fuji-Q Highland [school, library,].
 [I went to Fuji-Q Highland [school, library,].]

④教師が尋ね、生徒が答える

表現の誤りなどは適切な文にして全体に伝える。
 During spring vacation, where did you go?
 [I went school.] You went to school.

⑤教師に続いて尋ね方の練習

During spring vacation, where did you go?
 During spring vacation, where did you go?
 During spring vacation, where did you go?
 During spring vacation, where did you go?

⑥生徒が尋ね、教師が答える

I went to Fuji-Q Highland [school, library,].
 この段階で二文でのやり取りを生徒に行わせる。その後、後半二文のやり取りを同様の流れで練習。

3 アクティビティ

学級の生徒名簿を全員に配付し、話した相手の答えをメモさせる**。

A : During spring vacation, where did you go?

B : I went to a stadium.

A : What did you do?

B : I watched a soccer game.

「去年同じクラスだった人との会話は一点、違うクラスだった人との会話は二点」とし、五分程度時間を取ると盛り上がる。最後には個々の点数を確認し、数名に発表を促して活動を終える。

** (例)「Bさん、競技場、サッカーの試合観戦」

- ✓ この学年＝そのまま使える授業びらきシナリオ（発問・指示付き）
✓ 中1でそのまま使える授業びらきシナリオ（発問・指示付き）

「黄金の三日間」で中学校生活とは どのようなものを伝える

中学校の日常生活で大切にしたいこととして、昭和の教育学者、
哲学者である森信三氏の「しつけ三原則」、挨拶、返事、後始末の話をする。
この3つさえしっかりとできていれば、3年間の中学校生活を安心して送る
ことができる。それだけでなく、人から必要とされ、信頼される存在となれる。

宮城県石巻市立湊中学校

おか たく ま
岡 拓真

出会いの一日目、もしくは、二日目の最初の学
級活動において、変化のある繰り返しで指導する。

1 挨拶

- 1 相手より先に言う。
- 2 言葉と礼を分けて言う。

説明 挨拶は相手より先に言います。相手が挨拶

してから返すのは、「返事」です。常に、挨拶
ではなく、返事をしているのでは、次第に相手
から声を掛けられなくなってしまう。

指示1 相手よりも先に挨拶をする練習をします。

先生が教室に入った瞬間に、先生より先に挨拶
をします。

※教師は一度教室から出て、戸を開けて入り直す。
指示2 次は先生よりも早く、元気な挨拶をし
ます。

その後、列ごと、男子のみ、女子のみなど、何
度か繰り返し、できている子に手本としてやらせ
てみて、褒める。

全体で挨拶をする場合、言葉と礼を分けて行わ
せる。教師がやって見せて、隣同士互いにやらせ、
評価をして定着させる。

2 返事

- (1) 名前を呼ばれたら、かぶせるように。
- (2) 「はいっ！」と、「は」と「い」の間を短く。

指示3 隣同士、名前を呼び合って返事をします。

相手にかぶせるように、「は」と「い」の間が
短い返事をします。

指示4 隣の人の返事が良かったと言う人？（挙
手）

二、三組に手本としてやらせてみて、どこが良
かったかなどを話し合わせる。

3 後始末

森氏は、「後始末は履物をそろえること」とし
ている。ここでは、「机の中に椅子を入れること」
と、「掃除を一生懸命やること」として伝える。

起立した後、椅子を机の中に入れさせるのは、
挨拶をしながら着席してしまう生徒がいるからで
ある。これも教師が例を示し、意識させる。
掃除については、次の言葉を伝える。

掃除は汗をかく。

行動の基準を示すことで、動きが激変する。

✓ 教師のキャリアステージ別「学級びらき」の準備ポイント

✓ 新卒～3年目まではこのポイントを重点的に準備

伝えることをノートに書き出す。 伝える練習をする

春休みのうちに、ノート作りをしておくことが大切。

神奈川県川崎市立小学校 田丸 義明

1 ノートを作る

- ① ノートの表紙に「黄金の三日間」と書く。
- ② 担任する子供の名前を全員分、手書きする。
- ③ 学校は何をするところかを書く。

伴一孝氏は、次のようなことを学級びらきの際に話している。このような語りを書いておく。

学校は勉強をして賢くなる場所。友達と協力をして仲良くなるところです。賢くなるためには先生のお話をきちんと聞き、言われたことをきちんとする必要があります。友達と仲良くなるためには、自分勝手に行動するのではなく、相手のことを考えた行動をする必要があります。

この二つをしつかりとできるようにする場所が学校です。

- ④ 学級、学校のルール、やり方を書く。

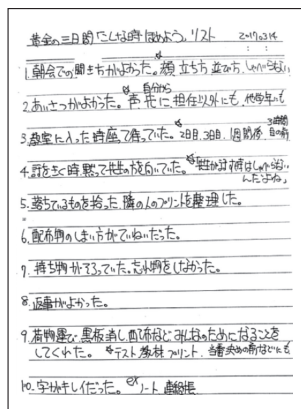
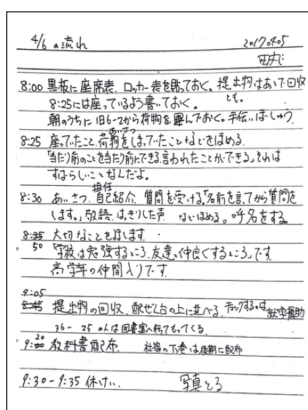
先生の話を聞くときのルール、忘れ物をしたときのルール、時間を守って行動すること、給食当番の仕方、掃除の仕方……などを「子供に話すように」書く。学年の先生に相談するとよい。

- ⑤ 初日、二日目、三日目……一週間分の、「何を

するのか」の細案を書く。学年の先生と相談して書き込んでいく。

2 子供に話すように練習をする

教室で実際に子供に話すことをイメージしながら練習をする。電車の中や歩いているときなどに、ブツブツと言いながら、どうやって話すのか、どんな言葉で話すのかをシミュレーションしておくのは非常に効果がある。③の「学校は何をするところか」は原稿を見ずに言いたい。④は漏れがないようにノートを確かめながら話す。



デジタル版 **00000000**
カラー画像を見ることができます！



- ✓ 教師のキャリアステージ別「学級びらき」の準備ポイント
- ✓ 10年目まではこのポイントを重点的に準備

1年間を見通した準備をする

鳥の目で戦略を、虫の目で戦術を立てる。
黄金の三日間「だけ」準備してはいけない。

山口県下関市立小月小学校
はやし たけ ひろ
林 健広

三つのポイントがある。

一つ目が、一年間の見通しをノートに整理すること。

黄金の三日間、そして一年間をノートに整理する。虫の目、鳥の目だ。一年間の見通しは、①学習 ②分掌 ③学年行事の三つである。

学習進度では、「どの単元が難しいのか」「どの単元でどのような学習道具がいるのか」をメモしていく。難しい単元を事前に知っていれば、同僚に質問することもできる。セミナーで講師に聞くことも、本を購入することも、TOSランドで調べることもできる。直前で慌てることがない。分掌、学年行事では、いつまでに提案すればいいのか、誰が何を分担するのか、どのような道具や申請書類が必要なのかを確認する。分からなければ、昨年度の職員会議議事録を見ればよい。提案された期日が書かれている。その期日の一か月前を目標とする。

二つ目が、年間指導計画に研修テーマ・向山実践を書き加える。

年間指導計画表をノートに貼る。私の場合は、手書きで写すときが多い。頭に整理するためだ。

そこに、研修テーマにつながる授業を加えていく。例えば、「書く力」が研修テーマならば、向山洋一氏の作文実践を加えていく。四月には「文を長く書く実践」「あ作文実践」などである。

The image shows two pages from a teacher's notebook. The top page is a detailed lesson plan with columns for dates, topics, and activities. The bottom page is a schedule or timeline, possibly for a year, with various entries and dates.

三つ目が、向山洋一氏の本をノートに整理する。

四月最初の職員会議まで、分掌・学年を教えない管理職と出会ったことがある。何も準備できない。さて、どうするか? 『新版 授業の腕を上げる法則』『新版 子供を動かす法則』『新版 学級を組織する法則』『新版 いじめの構造を破壊する法則』(向山洋一著 学芸みらい社)を読む。一気に読まない。ノートに整理しながら読む。次の行を定規で隠しながら読む。

いかなる状況でも、準備はできる。
笑顔で楽しみながら、準備しよう。



デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!



✓ 教師のキャリアステージ別「学級びらき」の準備ポイント

✓ 中堅～ベテランになったらこのポイントを重点的に準備

学校の安定を視野に入れた、 全体での確認

中堅以上の教員は、全校朝会などで「年間を貫く指導」の話をする。
この話を原則として、教員は学年・学級経営をしていく。
若手教員も、1年間ほとんどの場面で、児童指導に活用することができる。



東京都立川市立西砂小学校

しまむら ゆうじろう
島村 雄次郎

学級通信への掲載例は、デジタル・トークラインで見ることができます。

1 一年間を貫く語り

皆さんは二つのことができるようになるために学校に来ているのです。一つ目は勉強するため、二つ目は友達と仲良くするためです。この二つのことを教えるために、担任の先生がいるのです。

生活指導主幹は、四月初めの全校朝会で話をします。生活指導の話なので、この後に、生活指導の話を具体的にします。

「例えば、今月の生活目標は『元気に挨拶しよう』です。挨拶は二つ目の『友達と仲良くするため』に大切なことです」

そして、この後に、

「この二つのことが達成できるように、担任の先生の言うことをしっかりと聞いて一年間頑張ります。二つのことができるようになるために、『担任の先生の言うことを聞いて頑張る』という人は立ちましよう」

と言うと全校児童が立つ。この確認が大事だ。「生活指導主幹と全校児童が約束を交わした」という事実をつくるのである。

2 生活指導の先生の話を活用する

若手の担任であれば、生活指導の先生が話した二つのことをクラスで確認し、それをできるようにするために、所信表明をするとよい。「朝会で生活指導の先生が『頑張れる人』と聞いたときに、全員が立ったことに感動しました」などと、重ねて全員が約束したことを確認するとよい。この二つを達成するための学級目標を作ることでもある。

3 保護者にも伝える

全校朝会で全員が約束したことを、学校便りや学級通信に掲載すると、児童に対して、学校と保護者が共通した指導ができる。

4 毎回導入は同じ話から

生活指導の最初は毎回同じ話をする。「学校は何をする所ですか。二つ覚えている人は手を挙げましよう」と話し、挙手する一年生を指名しながら褒める。そして生活指導の話を始めるのである。

